

特別活動（学級活動） 「福祉教室『手話体験』」

綾瀬市立綾北小学校



単元（題材）目標

○障がいのある方の理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。

（1）実施時期

令和元年12月中旬



（2）対象（学年等・人数）

第1学年79名 第2学年86名（計165名）

小学校教員6名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：各学年担任教諭 6名

外部講師：1学年 ほほえみサークル 3名

2学年 聴覚障害者協会 1名、手話サークルあやの会 3名



（4）実施内容

①講演と実演：「聴覚障がいについて」各学年教室

- ・聴覚障がいの方が日常生活で工夫されていること、困ること、聴覚障がいの方に会ったらどんなふうにしたらよいかということについて、4名の方から話を聞いた。（手話通訳あり）



②手話体験：各教室

- ・クラスごとに45分の授業の中で手話の体験もさせていただきました。
- ・講師1名（聴覚障がいの方）ボランティア3名（手話サークルあやの会）
- ・簡単なあいさつ（おはよう、ごめんなさい、こんにちは、こんばんは、ありがとう、ばいばい）
- ・あいうえおの指文字
 - ・1年生は（よろしくおねがいします、わかりました、わかりません、自分の名前、最後に「さんぽ」を手話で合唱）

（5）成果

○2年生は、昨年度の手話体験の内容を覚えており、自分の名前を手話で行うことができていた。そのため、とても集中して話を聞くことができ、手話体験を通して、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。

○事前に指文字のプリントを配付して、自分の名前を指文字でできるようにしたことで、手話に対する意識が高まった。

